職務経歴書

目次

プロフィール

私は常に「なぜそれが機能するのか」「なぜそう設計されているのか」と問いを持ち続け、技術の本質を深く理解することにこだわってきました。

その背景には、昔から備わっていた「本質課題を特定し、ブレークスルーを起こしたい」という欲求があります。実務では、フレームワークの動作に納得できず、CPUやメモリ、OS、ネットワークといったコンピュータサイエンスの基礎から徹底的に学び直した経験があります。

その結果、自作のマイクロフレームワークを開発し、特定の技術に依存せずに開発ができるようになりました。

私の強みは、このような技術力の背景にある「抽象的な情報や曖昧な要望を構造化し、課題の本質に迫る力」です。この強みを活かし、クライアントが抱える本質課題を特定し、プロジェクトに貢献します。

経歴

勤怠管理システム

- **期間**：2020年6月〜2020年7月
- **担当工程**：要件定義、設計、実装、テスト、保守
- **概要**：社員が打刻操作を行うことで、勤務時間・休憩時間・残業時間をリアルタイムに記録・集計。CSV出力機能付き。
- **成果**：自動計算および出力により、管理者の工数を削減。

在宅営業スタッフ向け 研修管理システム

- **期間**：2020年8月〜2021年1月
- **担当工程**：ディレクション、要件定義、設計、実装、テスト、保守
- **概要**：研修動画の視聴・テスト完了後に業務が可能となる学習管理システム。
- **成果**：
  - ワイヤーフレーム作成、定例ファシリテーションなど上流工程も担当
  - 視聴ステータス管理、テスト遷移などを実装

複数プロジェクトのディレクション

- **期間**：2021年2月〜2023年12月
- **担当工程**：ディレクション、要件定義
- **概要**：10件以上のプロジェクトで、顧客折衝から要件整理、進捗管理まで幅広く対応。
- **成果**：
  - サービスの目的や課題、期待成果を丁寧にヒアリングし、設計へ反映
  - UIワイヤーフレームにより完成像を明確化
  - 追加機能の仕様定義から見積対応まで一貫して実施

コンピュータサイエンスの習得

- **期間**：2024年1月〜2024年12月
- **概要**：ハーバード大学の「CS50」コースを修了。ビュートローバーを用いてハードウェアの動作を理解。CPUやメモリ、OS、ネットワーク、アルゴリズム、データ構造といったコンピュータサイエンスの基礎を習得。
- **成果**：
  - 言語やフレームワークに依存せずに開発ができるようになった。
  - エラーが発生した際に、何が原因なのかを早く特定することができるようになった。
  - 可読性の高いコードを書くことができるようになった。
  - 静的言語のメリットを理解し、型を適切に使用することができるようになった。

チャットメッセンジャーアプリ開発

- **期間**：2025年1月〜2025年2月
- **担当工程**：全工程
- **概要**：TCP/UDP通信を使用したシンプルなチャットメッセンジャーシステム
- **成果**：
  - TCPとUDPの違いや用途に応じた実装を通じて、通信の基礎を実践的に習得
  - 並行処理やプロトコルの概念理解を深めた

コード共有アプリ CI/CD 構築

- **期間**：2025年3月
- **担当工程**：全工程
- **概要**：コードスニペットをオンラインで共有できるアプリケーション。
- **成果**：
  - GitHub pushをトリガーにしたデプロイ自動化を実現
  - 定期バッチで期限切れスニペットの自動削除を実装し、運用効率化
  - GitHub Webhook、自動デプロイ、cronの理解を深めた

マイクロフレームワークの開発

- **期間**：2025年4月〜2025年5月

- **担当工程**：全工程
- **概要**：マイクロフレームワーク
- **成果**：
    - OOPをベースに、抽象クラス・インターフェースを活用した設計を実践
    - デザインパターンの理解と適用により、拡張性・保守性のあるコードを構築
    - フレームワーク内部の仕組みを理解することで、ブラックボックスを減らし、技術選定の判断力を向上
    - MVC、DAO、ORM、Memcached、認証、ミドルウェア、マイグレーション、メール送信の理解を深めた